

『建設事業無災害表彰』制度は、着工から竣工までの間、全工期にわたり労働災害を発生させることなく建設事業を行った事業場に対し、厚生労働省労働基準局長が表彰する制度です。

この度、無災害表彰状を授与された事業場は次のとおりです。

事業場名 鹿島建設株式会社 横浜支店 横浜山下町免震ゴム交換工事
所在地 神奈川県横浜市中区山下町281
工期 平成30年2月13日 ~ 令和4年12月31日



表彰を受ける島成彦建築工事管理グループ担当部長（左）

現場概要

事業場名 鹿島建設株式会社横浜支店 横浜山下町免震ゴム交換工事

所在地 神奈川県横浜市中区山下町 281

工期 平成 30 年 2 月 13 日～令和 4 年 12 月 31 日

現場概要

- ・建物構造 : 鉄筋コンクリート造
- ・建物階数 : 地上 10 階 地下 1 階
- ・建物用途 : 文化社会施設 (劇場・放送局)
- ・敷地面積 : 6,436.61 m²
- ・建築面積 : 4,818.88 m²
- ・延床面積 : 24,677.47 m²

工事概要

- ・居ながら工事
- ・準備工事 (既存躯体補強)
 - : 基礎コンクリート増し打ち 30 箇所+B1 階壁コンクリート増し打ち 29 箇所
- ・免震ゴム交換工事 (仮設ジャッキアップ 免震ゴム冷却 免震ゴム交換 仮設ジャッキダウン)
 - : 82 基

無災害に向けて工夫した取り組み

【労働災害防止に向けて】

地下免震階は携帯電話もほとんど繋がらない状況であった為、各作業員に無線機を支給し、どのような状況でも連絡が取れる環境を整えました。作業員配置にも気を配り、入退場時に作業予定位置の確認を徹底することで、閉鎖環境において一人作業が発生しない様工夫しました。

また、地下免震階は視界が悪く、階高が低い上に狭く、既存インフラ設備が沢山有り作業動線がわかりづらい状況であった為、仮設照明を多数配置することで視界を良好にし、各作業員への移動用台車の支給や安全通路として床にペイントを施すなど、少しでも作業しやすい環境となる様工夫しました。

その他、機械が使用出来ない場所におけるハンドパレット等人力での重量物の移動作業の際には、適切な作業員配置に努め、無理な人数での移動作業とならない様計画しました。

【第三者災害の防止に向けて】

居ながら工事であったため、事前に所有者・施設管理者と密に打合せを行い、建物のイベント等を把握することで、施設利用者等との接触事故がないよう、作業及び搬入出車両等の調整を行いました。また、地下 1 階の一般駐車場の一角を工事用エリアとして借用していた為、仮囲い等により区画を行った他、工事用車両の移動時にはガードマン・誘導員等による 2 人体制での車両誘導を行うなど、特に一般駐車場利用者との第三者災害の防止に努めました。

苦勞した点

前述の通り、居ながら工事であったため、施設で行われる公演やその他のイベントとバッティングすることが無いよう、工程・日程を調整する事に苦勞しました。

また、着工当初、建物周辺のマンション住民の皆様へ配慮し、夜間工事から日中工事へと変更を行ったが、施設運営にもご迷惑がおかけしないよう、騒音・振動が発生する作業については、午前中の短時間に限定するなどの工夫をし、工事を進めました。

その他、当工事には、建物所有者・施設管理者はもちろんのこと、設計・監理者や社内関連部署等、多くの関係者が存在していた為、各関係者の意見や見解を確認し、多角的な視点での工事運営に努めました。